

志學館大学まなびプラン
(S-MANAB : Shigakukan university-Mentoring Academic Needs And Beyond)

この計画は、ICT を利活用した質の高い教育の実現に向け、本学が主として学習支援ポータルを通じて行ってきた、学修者本位の学修の実現のための各種取組を、S-MANAB プランとして統合的に整理し、以下に掲げる施策を通じ、教育環境の高度化を図り、もって学生が自らの意欲や能力を活かし、主体的・積極的に学びを進めるこの促進を企図するものである。

- 1. 学習支援ポータルの利活用による切れ目のない協力的な支援体制の構築**
 - a. 学習状況に応じた学習計画に係るアドバイス等の実施（学期初め修学面談制度等）
 - b. 教職員による学習状況のモニタリング（修得単位数の推移や出席状況調査等）
 - c. 学生記録のプロファイル化
- 2. 学習状況の可視化と教育課程改善へのフィードバック**
 - a. 学習成果の可視化（単位修得状況、GPA、要卒単位過不足等）
 - b. 学習進捗状況のフィードバック（卒業見込み判定、DP 達成度等）
 - c. DP 達成状況等のモニタリングによる教育課程の点検と改善
- 3. 学習マネジメント体制の強化**
 - a. 学期途中の出席状況調査と履修指導面談
 - b. 円滑で確実な学習情報の提供
 - c. 学生－教職員間の相互作用チャンネルの確保
 - d. アンケート機能を利用した学生意見の聴取による各種施策の点検と反映
- 4. 学習管理システムの適切な利活用による主体的で効率的な学習のサポート**
 - a. 授業担当者の求めに応じた Moodle 等活用環境の整備
 - b. 教職員を対象とした技術支援、教育支援体制の維持
 - c. 教育DX推進の取組
- 5. ICT 環境の整備とセキュリティへの対応**

第4次経営計画の基本計画Ⅲ「管理運営」の戦略8「教育研究環境の整備」取組③「情報環境の整備」のもとに行う。
- 6. 学修者本位の学修の実現に向けた数値目標の設定**
 - a. アウトプットに関する指標：修学面談実施率 100%
 - b. アウトカムに関する指標：GPA1.0 以上 100%